



しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

＜再処理工場の運転員による重大事故訓練＞

1. はじめに

再処理工場では、万が一、重大事故が発生した場合でも、速やかに対処することで事故の拡大を防ぎ、地域の皆さまへの影響をできる限り小さくするため、事故の対応にあたる一人ひとりが迅速かつ的確に事故の収束対応ができるよう、瓦礫撤去や放水砲訓練など様々な訓練を繰り返し実施しています。

2. 運転員を対象とした重大事故を想定した訓練※

今年度は、5月に初動対応訓練(約180名参加)、6月には臨界事故を想定した訓練(約60名参加)、9月から10月には、前処理、分離、精製、ウラン・プルトニウム混合脱硝、高レベル廃液ガラス固化の5建屋で、地震により外部電源が喪失し、非常用ディーゼル発電機も使用できず、水素爆発・蒸発乾固が同時発生したことを想定し、初動対応と事故の拡大防止対策の訓練(約300名参加)を実施しました。

※各訓練は当直班毎に5回に分けて実施

●水素爆発・蒸発乾固を想定した訓練 (9/8～10/12)

[初動対応訓練]



現場の確認に向かうため、防護具（汚染防護服、酸素呼吸器等）を装着する様子



現場パトロールの結果に基づき機器の損傷状況を確認している様子

[拡大防止訓練]



放射性物質を建屋内に閉じ込めるため、廃ガス処理設備の弁を閉止操作する様子



放射性物質を建屋内に閉じ込めるため、風量を調節する装置の閉止操作に向かう様子

地域の皆さまにご安心していただけるよう、様々な事象を想定した訓練を継続的に実施し、万が一の際にもプロフェッショナルとして、しっかりと取り組んでまいります。